



e-marketing company

2011年12月期 Q4 決算説明会資料

2012年2月13日

- ▶ 2011年Q4(10-12月)連結決算サマリー
- ▶ 2011年Q4(10-12月)主要事業の状況
- ▶ 2011年FY連結決算サマリー
- ▶ 中期経営方針
- ▶ 2012年FY事業戦略・方針
- ▶ 参考資料

2011年Q4(10-12月) 連結決算サマリー

*以降、特に記載なき場合、金額は百万円単位・単位未満切捨、パーセンテージは単位未満四捨五入にて表記しています。

2011年Q4ハイライト

連結売上高は前Q比+16.5%、昨年同期比+9.3%の176億円と再び高成長の兆し。営業利益は4.0億円。広告・ソリューション事業は堅調、新規事業領域はまだ投資フェーズのため赤字。

➤ **広告・ソリューション事業: 売上168.5億円 営業利益5.1億円**

過去最高売上更新、粗利益率も2Qボトムに改善傾向

SEM堅調、スマートフォン売上比率拡大、地方ニーズ掴み子会社成果

金融、不動産が躍進。不動産は震災落ち込みから完全復活

生産性向上狙い顧客別及び部門別収益管理の強化と地方や海外へのアウトソース体制推進

➤ **データベース事業: 売上4.7億円 営業利益0億円**

データ保有拡大。Platform ID社順調に伸び

データ分析サービスリリースし、大型受注相次ぐ

➤ **コンシューマ事業: 売上2.0億円 営業利益▲0.5億円**

単体投資フェーズで赤字拡大

ソーシャルコンサルティング事業開始し、受注順調

連結子会社のモバイルファクトリーは黒字確保

➤ **海外事業: 売上1.8億円 営業利益▲0.5億円**

連結子会社のeMFORCE堅調も、単体の販管費増加により営業赤字継続

タイ、シリコンバレーへ人員派遣、積極的な海外展開への布石

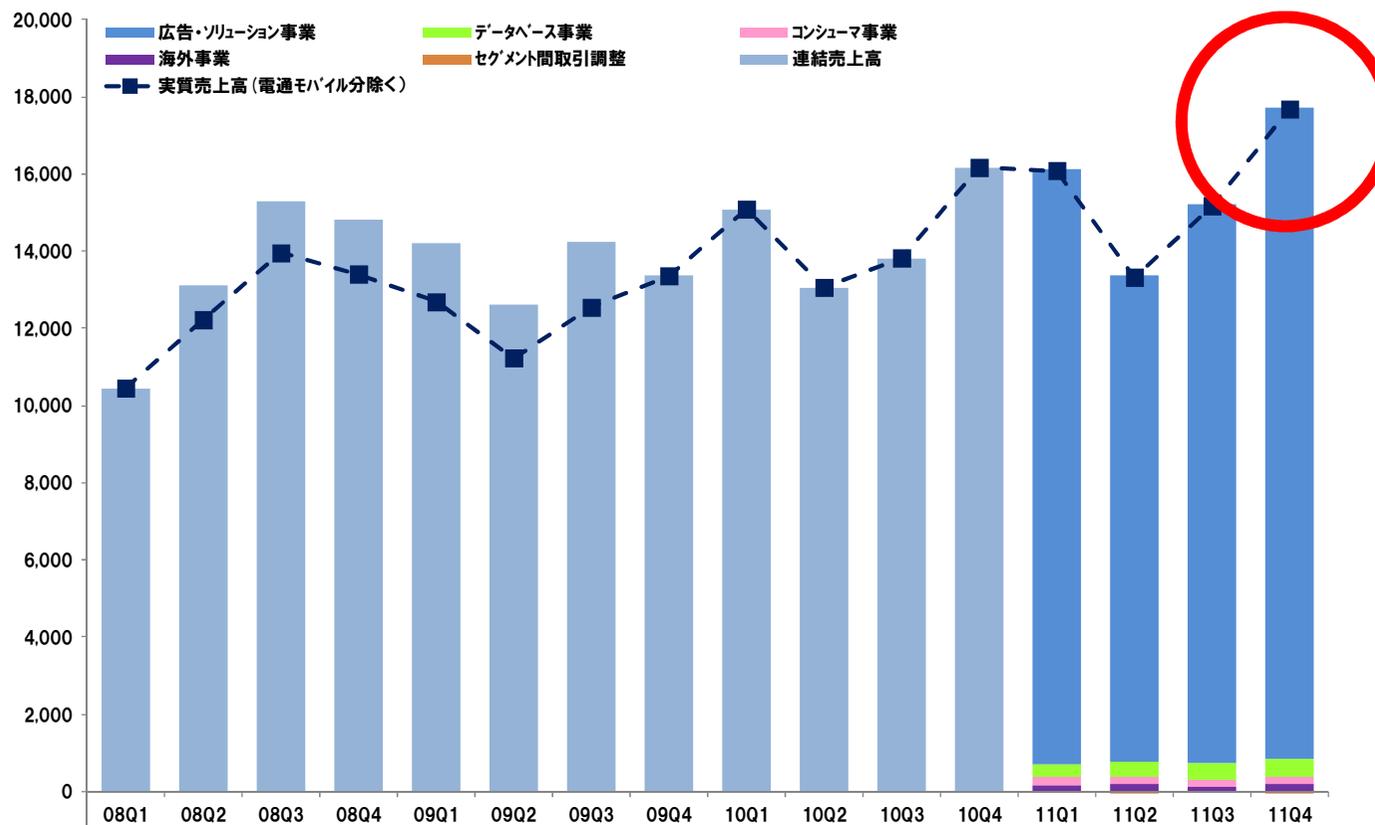
連結損益計算書サマリー

		11Q4	10Q4	10Q4対比
連結	売上高	17,678	16,167	+9.3%
	売上総利益	2,312	2,134	+8.3%
	販管費	1,904	1,749	+8.8%
	営業利益	407	384	+6.0%
	経常利益	407	384	+5.8%
	当期純利益	-6	149	—

有価証券評価損による特別損失発生(252百万円)により当期純利益マイナス(2/9適時開示)

連結売上高の推移

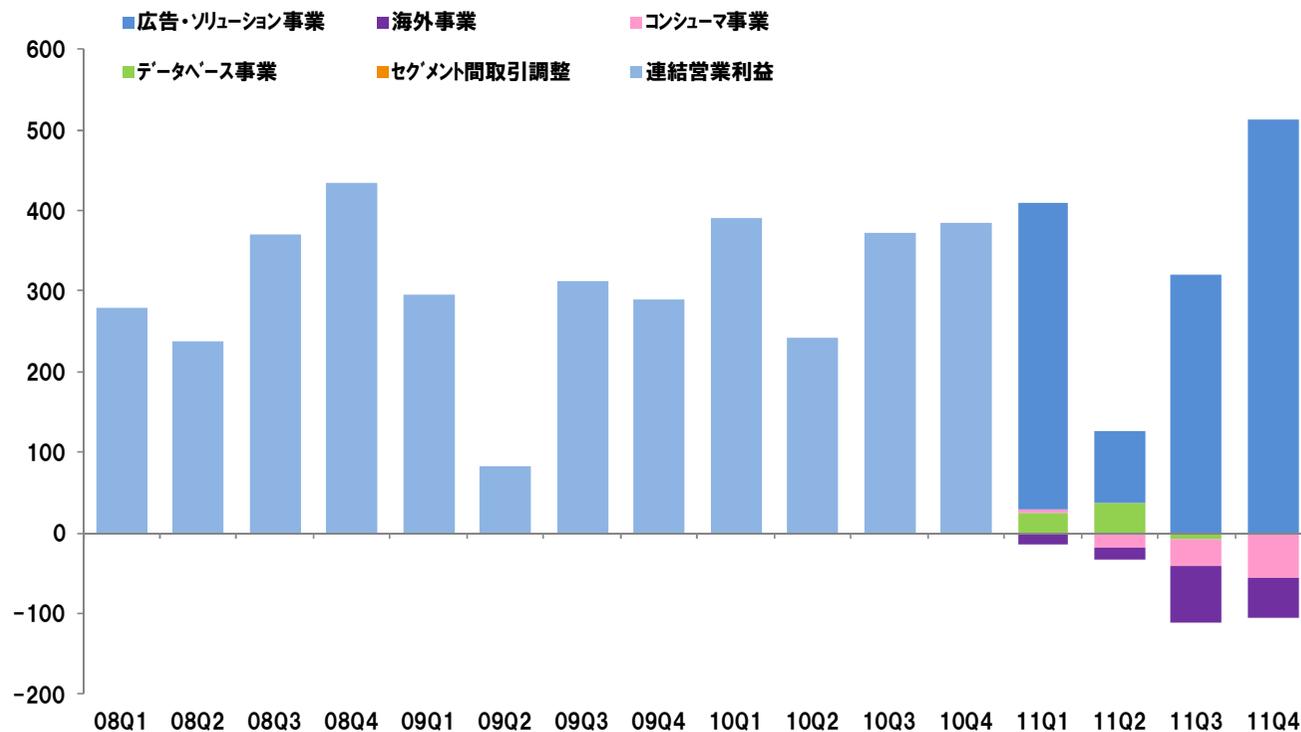
Qで過去最高売上達成し、横ばい基調から抜け出す兆し。各事業ともに前Q比増収。
連結子会社の地方展開が売上増加に寄与。



連結売上高	08Q1	08Q2	08Q3	08Q4	09Q1	09Q2	09Q3	09Q4	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4
連結売上高	10,451	13,109	15,289	14,805	14,190	12,619	14,241	13,359	15,084	13,059	13,822	16,167	16,085	13,321	15,175	17,678
広告・ソリューション事業													15,396	12,601	14,472	16,855
データベース事業													354	390	411	479
コンシューマ事業													210	186	184	207
海外事業													154	182	137	180
セグメント間取引調整													-31	-39	-30	-44

連結営業利益の推移

広告・ソリューション事業は増収率高く、粗利益率改善もあり堅調。
新規事業領域は投資フェーズのため赤字。



連結営業利益	280	237	370	434	296	83	312	290	390	243	373	384	397	92	210	407
広告・ソリューション事業													381	88	321	513
データベース事業													25	38	-9	0
コンシューマ事業													4	-18	-33	-55
海外事業													-15	-16	-69	-51
セグメント間取引調整													0	0	0	0

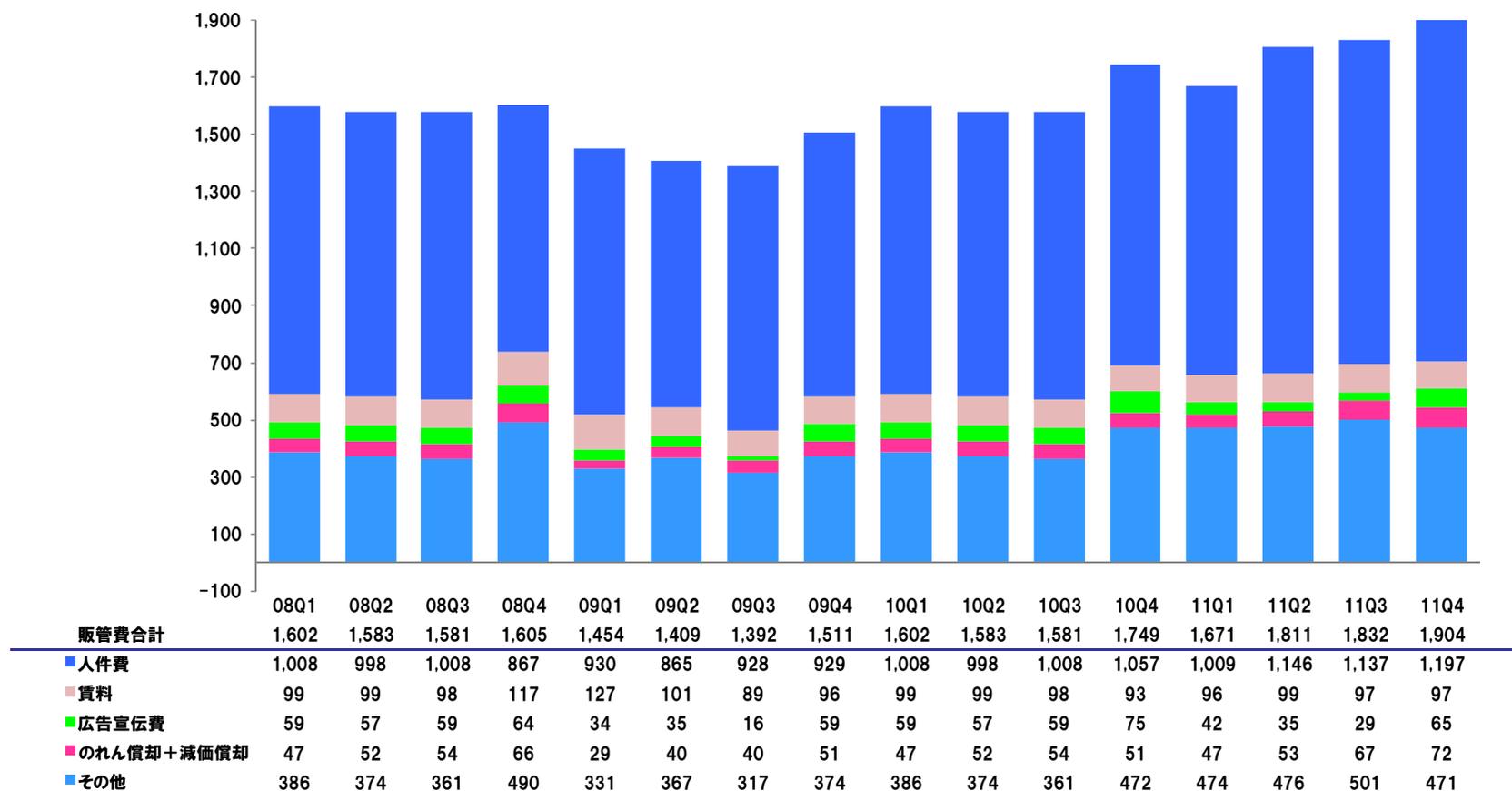
セグメント別の売上高・営業利益

全ての事業で対前Q比売上2ケタ増。
特に広告・ソリューション事業は、再び高増収軌道及び粗利益率改善で営業利益も堅調に。

		11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	11Q3対比
広告・ソリューション事業	売上高	15,396	12,601	14,472	16,855	+16.5%
	営業利益	381	88	321	513	+59.7%
データベース事業	売上高	354	390	411	479	+16.6%
	営業利益	25	38	-9	0	—
コンシューマ事業	売上高	210	186	184	207	+12.1%
	営業利益	4	-18	-33	-55	—
海外事業	売上高	154	182	137	180	+31.3%
	営業利益	-15	-16	-69	-51	—
セグメント間取引調整	売上高	-31	-39	-30	-44	—
	営業利益	0	0	0	0	—
						8

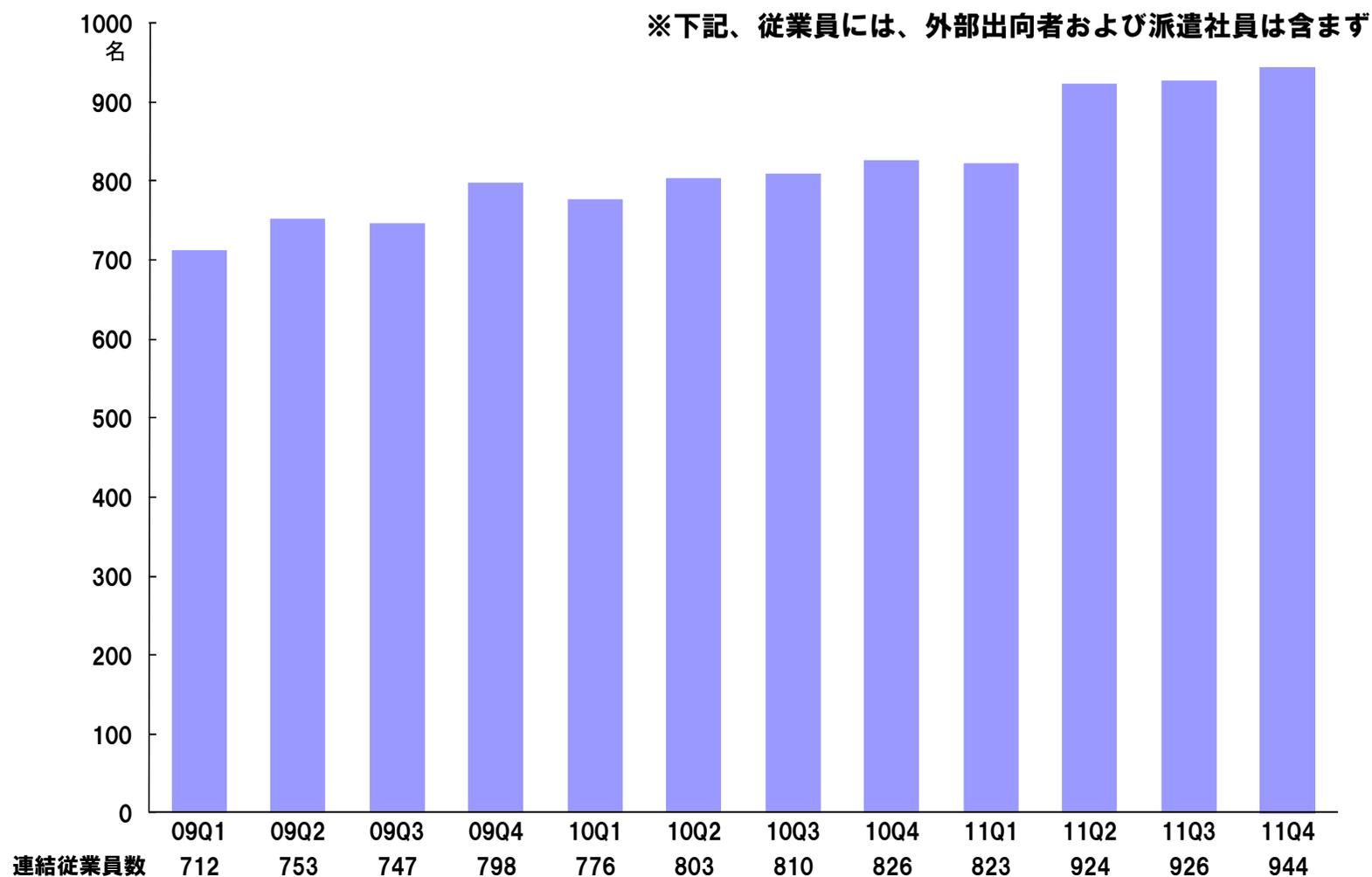
連結販管費の推移

対前Q比+3.9%、連結子会社の広告宣伝費増加。
対前年同Q比では+8.8%、人員増加による人件費増加。



連結従業員数の推移

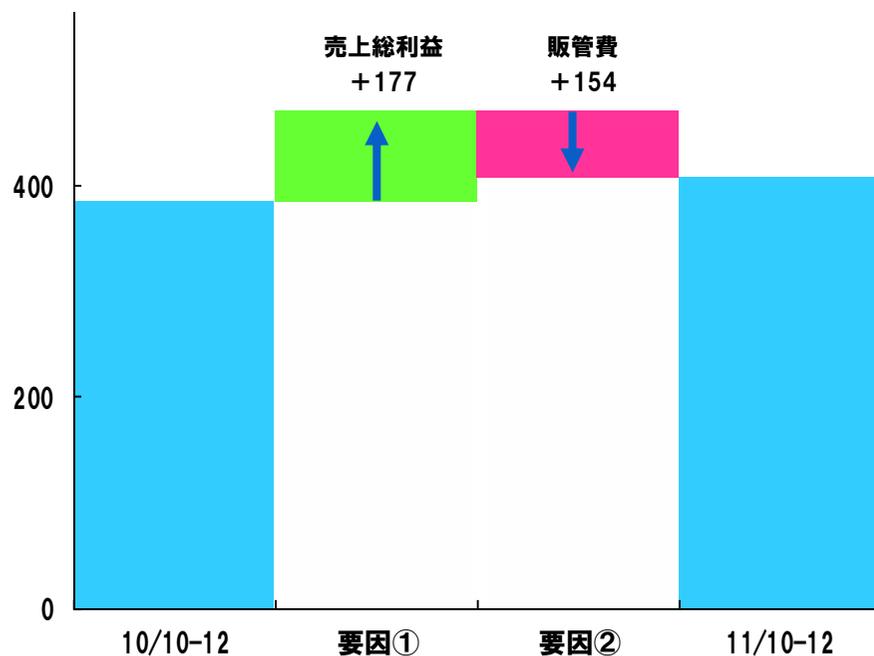
この2年間で、広告・ソリューション事業の人員は横ばい。新規事業領域で約130名増員。



連結営業利益の増減要因

■ 連結営業利益

10/10-12	11/10-12	増減	増減率
384	407	+23	+6.0%



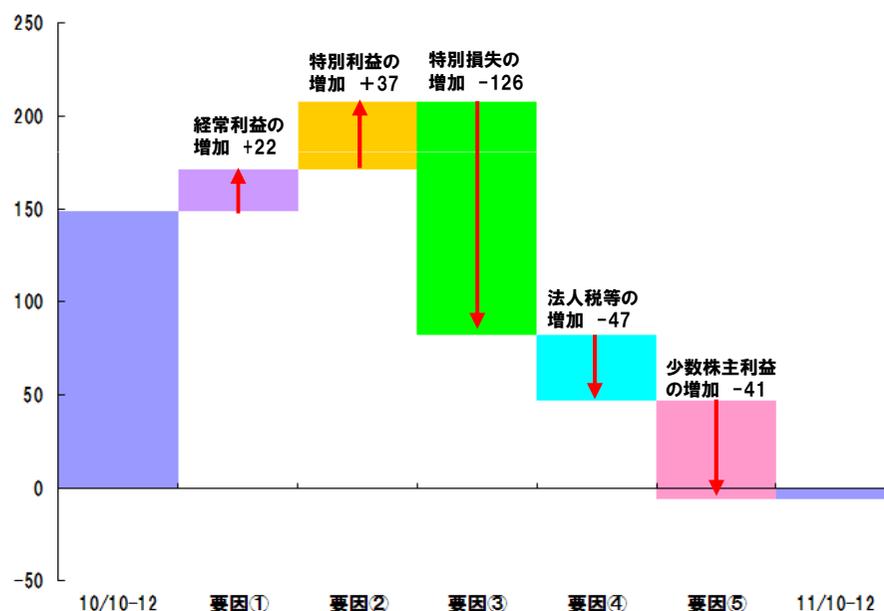
■ 連結営業利益の増減要因

- 要因①:**子会社の業績拡大を主要因とした売上の拡大(+177百万円)
- 要因②:**減価償却費用の増加や、人員増加による人件費増加(-154百万円)

連結当期純利益の増減要因

■ 連結当期純利益

10/10-12	11/10-12	増減	増減率
149	-6	-156	-



■ 連結当期純利益の増減要因

要因①: 経常利益の増加(+22百万円)

要因②: 貸倒引当金戻入益等による特別利益の増加(+37百万円)

要因③: 投資有価証券評価損の発生等による特別損失の増加(-126百万円)

要因④: 法人税等の増加(-47百万円)

要因⑤: 少数株主利益の増加(-41百万円)

2011年Q4(10-12月) 主要事業の状況

広告・ソリューション事業

広告・ソリューション事業の動向

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	11Q3対比
売上高	15,396	12,601	14,472	16,855	+16.5%
営業利益	381	88	321	513	+59.7%

【オプト】

<顧客動向>

- ・金融業種の回復顕著
- ・不動産業種、震災の影響脱却し主要事業回復
- ・粗利益率改善

<メディア動向>

- ・スマートフォンの取扱い拡大継続(Q3比約70%増)
- ・Google SEM&リマーケティング増加、シェア拡大続く

【子会社】

- ・各子会社ともに売上・利益ともに堅調な成長を記録
- ・ソウルドアウト過去最高益達成、成長軌道へ
- ・各社地方展開による売上貢献が高まる

データベース事業

データベース事業の動向

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	11Q3対比
売上高	354	390	411	479	+16.6%
営業利益	25	38	-9	0	-

【オプト】

- マーケティングデータベースの開発 & 分析事業サービスイン
- CCCとの協業シナジー創出に向け、広告・ソリューション事業や
コンシューマ事業にも波及、今後のシナジー拡大を推進
- データ蓄積フェーズから活用フェーズへ

【子会社】

- Platform IDの売上順調に拡大
- Xrost(オーディエンスターゲティング広告配信)の売上拡大
- Tポイント会員データ(ネットデータ)とのデータ連携開始

コンシューマ事業

コンシューマ事業分野の動向

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	11Q3対比
売上高	210	186	184	207	+12.1%
営業利益	4	-18	-33	-55	-

【オプト】

➤コンシューマ事業

- ・CCCとの連携によりTSUTAYA店舗でのアプリ販売等、積極展開を開始

➤ソーシャル関連事業

- ・ソーシャルコンサルティング事業サービスイン。好調な売上を達成

【子会社】

- ・モバイルファクトリー、スマートフォン向けアプリビジネス開始

海外事業

海外事業分野の動向

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	11Q3対比
売上高	154	182	137	180	+31.3%
営業利益	-15	-16	-69	-51	—

【オプト】

- ・アジア、ASEANを中心とした業務展開先の発掘継続
- ・引き続きタイおよびアメリカシリコンバレーへの人員派遣継続
現地マーケティング・情報収集を継続強化

海外事業展開



ASIA



Korea

eMFORCE
The Task Force of eMarketing

(インターネット広告代理店)



China



OPT Beijing
Information Technology

BlueFocus
蓝色光标

(WEBサイト制作・運用等)

(大手PRサービス会社)



**Singapore
&
Thailand**



モバイル広告プラットフォーム

2011年FY 連結決算サマリー

2011年FYエグゼクティブサマリー

**連結売上高、粗利益共に過去最高を更新
営業利益以下は投資フェーズのため減益**

広告・ソリューション事業は2Qに震災の影響を受けながらも、リスティング広告やスマートフォンの伸びを中心に成長。地方展開も成果

生産性向上で着実に成果(顧客別及び部門別収益管理の強化。地方や海外へのアウトソース体制推進。)

データベース事業への投資継続。CCCとのデータベース事業協業拡大で成果。データ分析サービスも開始

**事業領域別経営会議体制による経営スピードアップ
事業領域毎に投資加速**

連結損益計算書サマリー

		11/1-12	10/1-12	10/1-12 対比
連結	売上高	62,260	58,132	7.1%
	売上総利益	8,326	7,908	5.3%
	販管費	7,219	6,517	10.8%
	営業利益	1,107	1,391	-20.4%
	経常利益	1,294	1,457	-11.1%
	当期純利益	600	596	0.7%

セグメント別の売上高・営業利益

		11/1-12	10/1-12	10/1-12 対比
広告・ソリューション事業	売上高	59,326	55,353	+7.2%
	営業利益	1,306	1,377	-5.2%
データベース事業	売上高	1,636	1,465	+11.7%
	営業利益	55	-8	収益化
コンシューマ事業	売上高	789	954	-17.3%
	営業利益	-102	42	—
海外事業	売上高	655	528	+24.0%
	営業利益	-152	-21	—
セグメント間取引調整	売上高	-145	-168	—
	営業利益	1	1	—

連結貸借対照表サマリー

	11/12末	10/12末	増減
流動資産	23,488	23,346	+0.6%
固定資産	7,296	6,552	+11.4%
資産合計	30,784	29,898	+3.0%
流動負債	12,145	11,201	+8.4%
固定負債	100	316	-68.3%
負債合計	12,246	11,518	+6.3%
純資産合計	18,538	18,380	+0.9%

連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

	11/1-12	10/1-12
営業キャッシュ・フロー	1,346	2,366
投資キャッシュ・フロー	-2,403	-781
財務キャッシュ・フロー	-286	-178
現金同等物増減	-1,345	1,401
現金同等物残高	11,906	13,234

業績予想比

売上はほぼ業績予想同水準となったものの、売上総利益が想定を下回り営業利益が減少
当期純利益は投資有価証券売却損等の影響を受け、予想比76.5%

	2011年 H1	2011年 H2	2011年 FY		
	実績	実績	実績	予想	予想比
売上高	29,406	32,853	62,260	62,406	99.8%
営業利益	489	617	1,107	1,332	83.1%
経常利益	637	657	1,294	1,519	85.3%
純利益	354	245	600	785	76.5%

中期経営方針

ビジョン・スローガン: イノベーションカンパニー 「ネットの先駆者たらん」

ドメイン:

“インターネット”×“DBマーケティング”を軸に、
全ての企業・人のネット活用をリードし、
新ネット産業を創造する。

[~2009年]
危機認識

[2010~11年]
改革

[今年~]
攻めへ

・大企業病
(ベンチャーマインド
の希薄化)
・急成長の弊害
・リーマンショック

10の施策

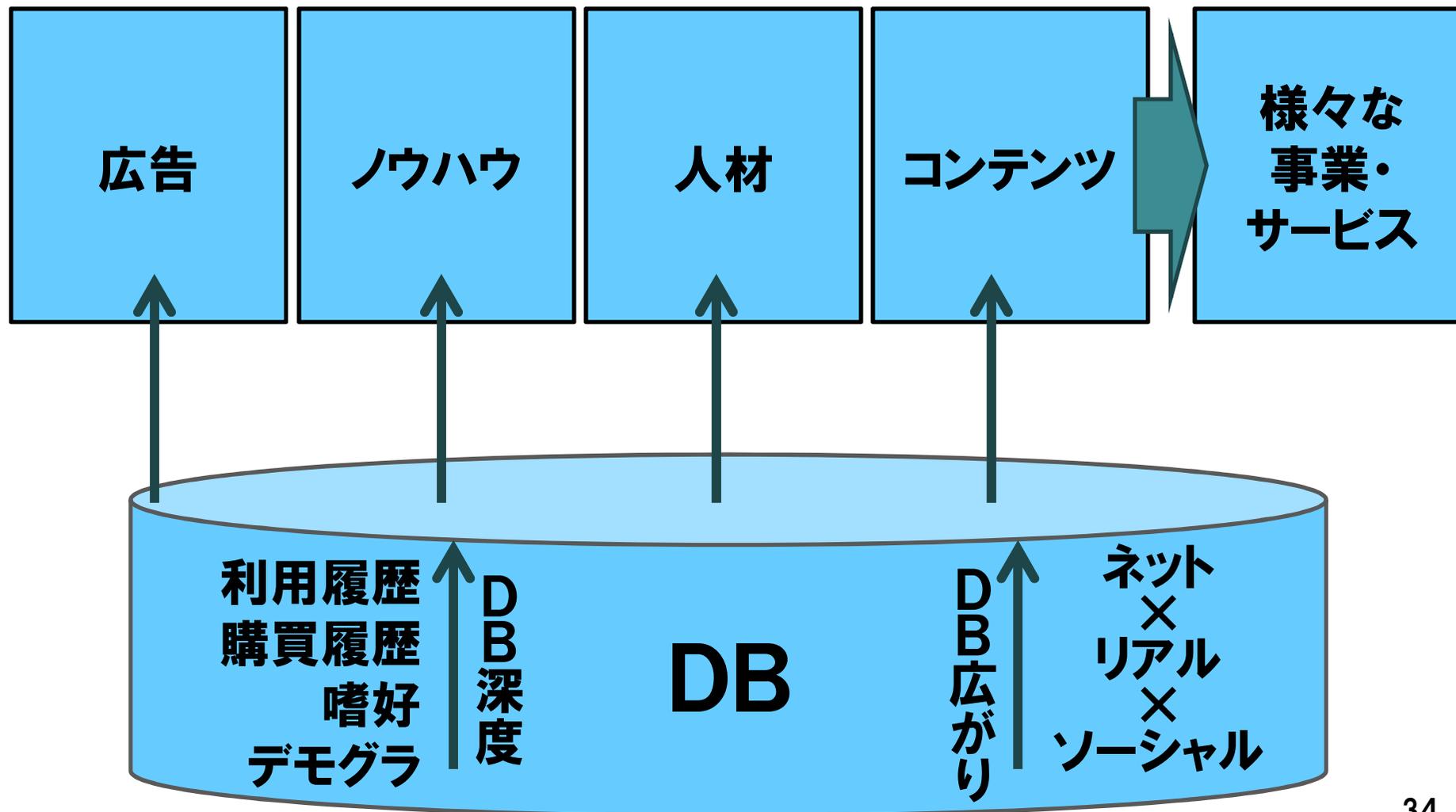
1. イズム再浸透
2. エントリー制度実施
3. 情熱ファクトリー実施
4. 新卒採用強化
5. 組織細分化
6. 経営者育成研修強化
7. 領域別役員体制移行
8. ワークスタイル変革(移転)
9. 社員満足度調査実施
10. 資本政策の実施

事業投資加速
&
生産性向上

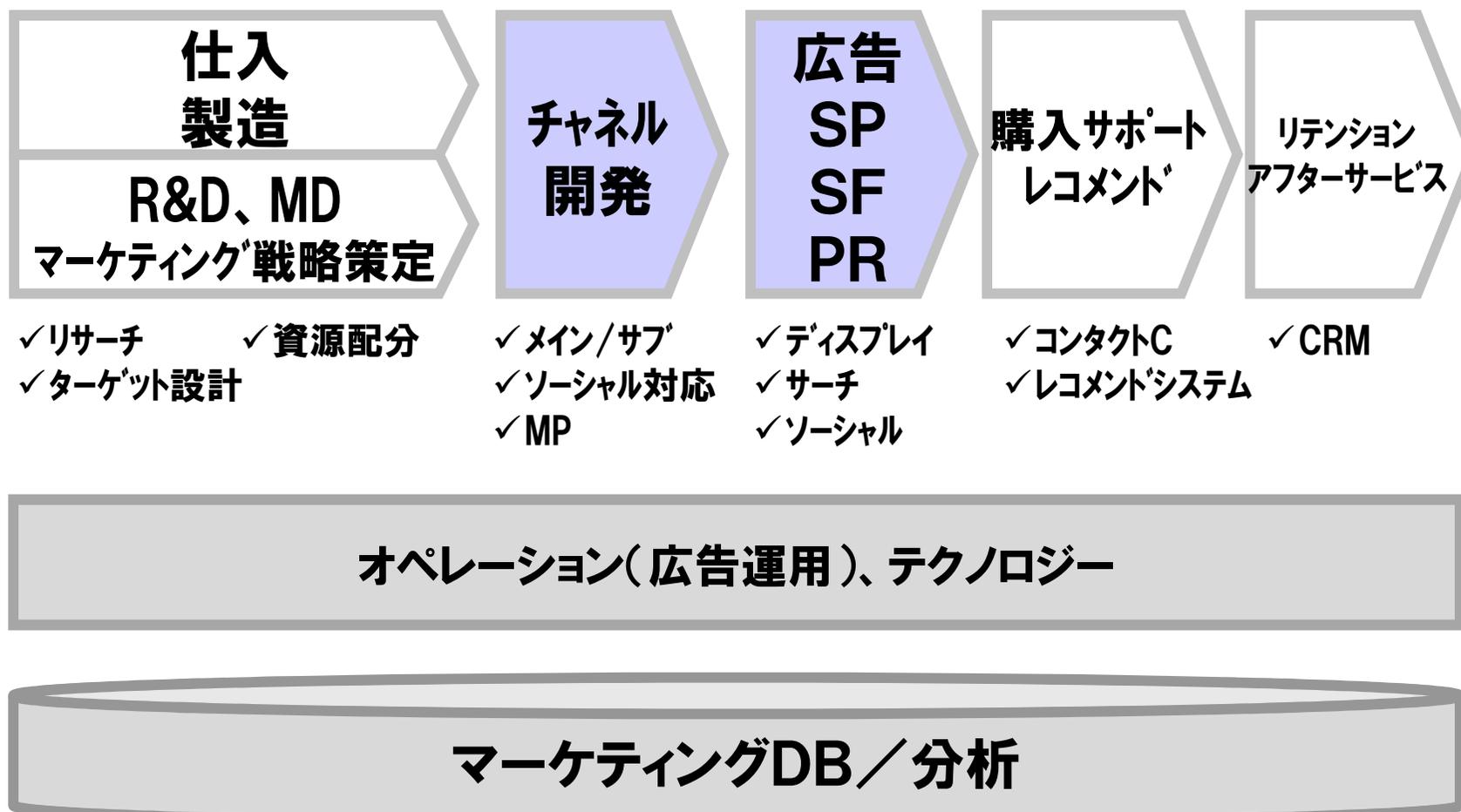
- ① データベース(DB)への積極投資により、
DB基盤に新事業・新サービスを生み出す
- ② 広告・ソリューション事業を主軸に収益化
 - ・DB・安定運用力・テクノロジーを強化
 - ・生産性向上に注力
 - ・地方や海外へ積極展開
- ③ 新規事業領域(DB、コンシューマ、海外)を
第2、第3の収益の柱に

事業展開イメージ図

DBを活用し、様々な事業、サービスを提供



広告・ソリューション事業のバリューチェーン



2012年FY事業戦略・方針

2012年度業績予想

	2011年 F Y	2012年 H1	2012年 H2	2012年 F Y	
	連結	連結	連結	連結	前年比
売上高	62,260	31,812	35,786	67,598	108.6%
営業利益	1,107	495	739	1,234	111.5%
経常利益	1,294	479	728	1,207	93.2%
純利益	600	111	312	423	70.4%

- 広告・ソリューション事業: 引続き堅調(市場成長同等)な成長を見込む
 - ・収益の軸として成長フェーズ継続
 - ・生産性の改善
- データベース事業: 積極投資継続 & 収益フェーズへ
- コンシューマ事業、海外事業は引続き投資フェーズ

売上: 市場成長率同等(+8.6%)の増収

営業利益: 投資継続の影響を受け、2011年比+11.5%を見込む

～構造改革の年～

- 生産性向上 BPOの積極活用
- 組織細分化 クライアントニーズ別の組織体制へシフト
- 運用力の一層強化
- グループ会社の収益力アップ

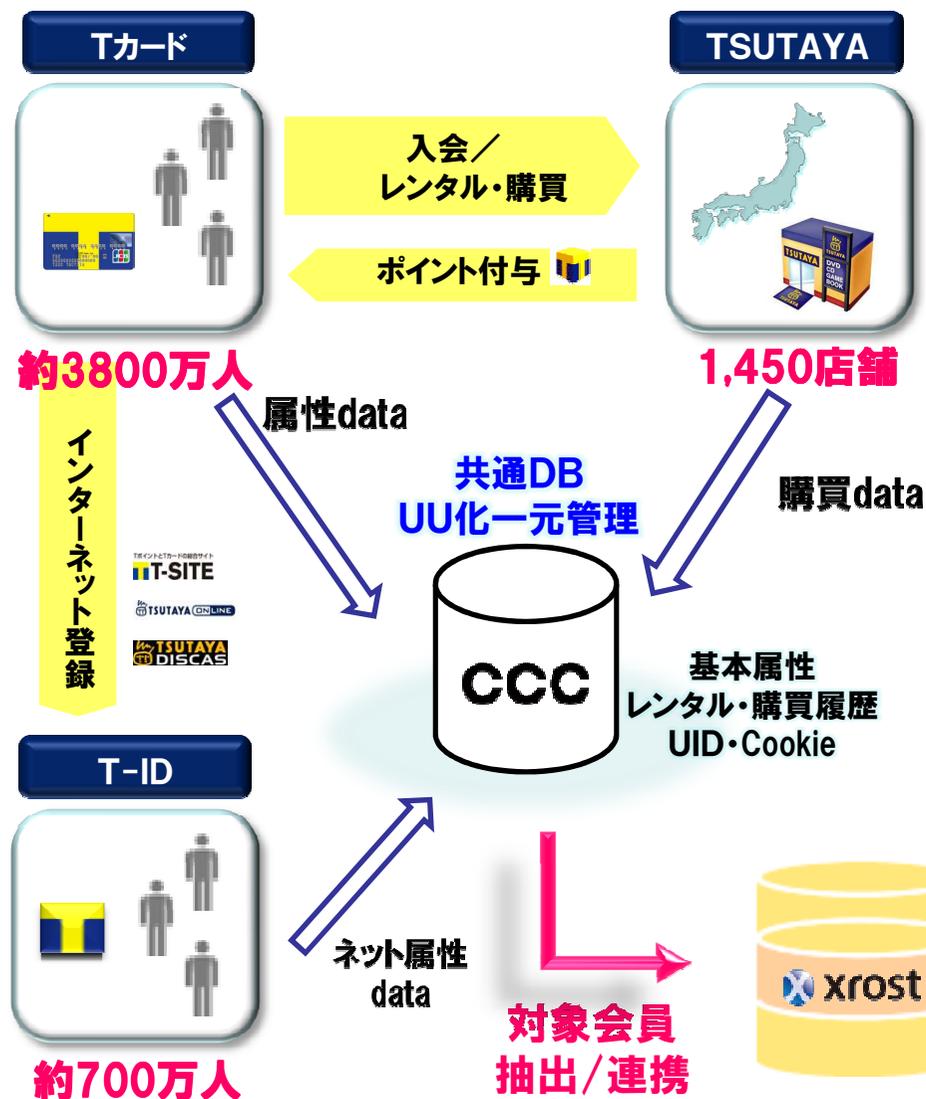
**収益性向上への構造改革推進。地方へも積極的に展開
今後も安定収益の柱として成長フェーズ継続**

～広告・ソリューション事業との連携再強化～

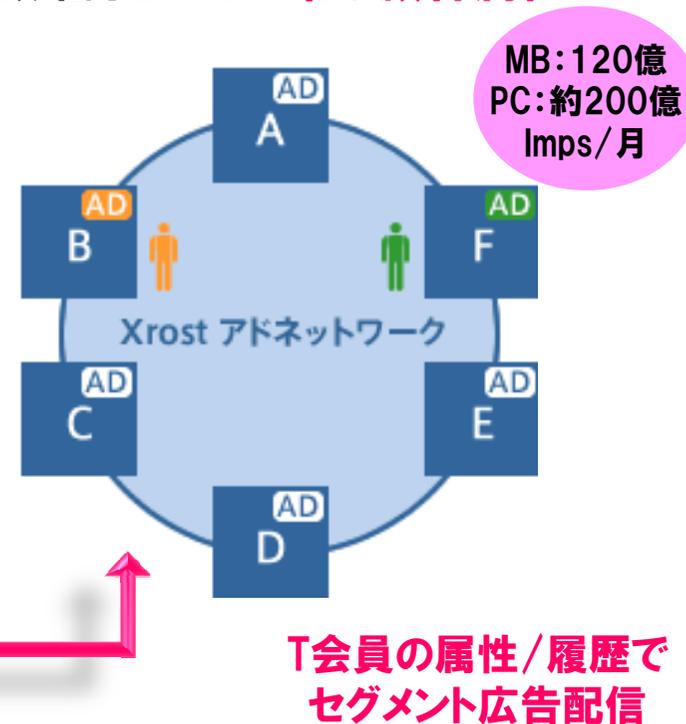
- **日本最大のデータベース構築**
(リアルPOSデータ、twitterデータ、ソーシャルデータ)
- **Xrost配信先拡大→オーディエンスターゲティング広告配信強化**
(Google)DoubleClick Ad Exchange接続(2/9よりデータ連携開始)
2012年Q2、スマートフォン向けXrostリリース予定
- **データ分析力の一層の強化**

ネット×リアルデータベース保有の強みを活かし、広告・ソリューション事業とのさらなる連携を行い、収益の2本目の柱へ成長を目指す

CCCとのリアルデータ連携 イメージ図



- 店舗の実購買履歴データ
 - ネット回遊率の高い顧客
- ↓
- 最大200億impの媒体力で広告配信
店頭確認された**正確な顧客属性**



～コンシューマ事業、ソーシャル事業ともに投資フェーズ継続～

- ソーシャルコンサル事業売上拡大へ
- 新収益モデルの立ち上げ
- 口コミやソーシャル関連データベース構築への投資

積極投資により、2013年の収益化を目指す

～アジア進出本格化へ～

➤ 韓国事業強化へ

- ・韓国事業再編を促進し、韓国でのネット広告シェア第1位の総合広告代理店への成長を目指す。

➤ 中国、インド、ASEAN地域でのビジネス展開の模索

- ・中国事業への挺入れ

➤ アメリカでのビジネス展開の模索継続

- ・先端米国情報活用(シリコンバレーへ人員派遣)

アジア地域を中心に積極投資を行い、現地法人の安定稼働、収益性向上を図り、2014年の収益化を目指す

～ワークスタイルの改革推進に向けて～

➤ オフィス移転と各種施策

移転予定日: 2月27日(グループ会社一部先行)

移転先: 千代田区番町 東急番町ビル @市ヶ谷駅

➤ 主な施策

＜フレキシブルワークスタイルへ＞

- ・対顧客へのサービス向上を目指し、状況に応じたチーム体制でのワークスタイル実現を目指す。
- ・いつでもどこでも働けるよう、クラウド & Thinクライアント導入。
- ・コミュニケーションを促進させるフリー空間を創出。

生産性の向上、コストダウン実現、社員モチベーションの更なるアップを図り、スピード経営体制の加速を目指す

今後のIR方針

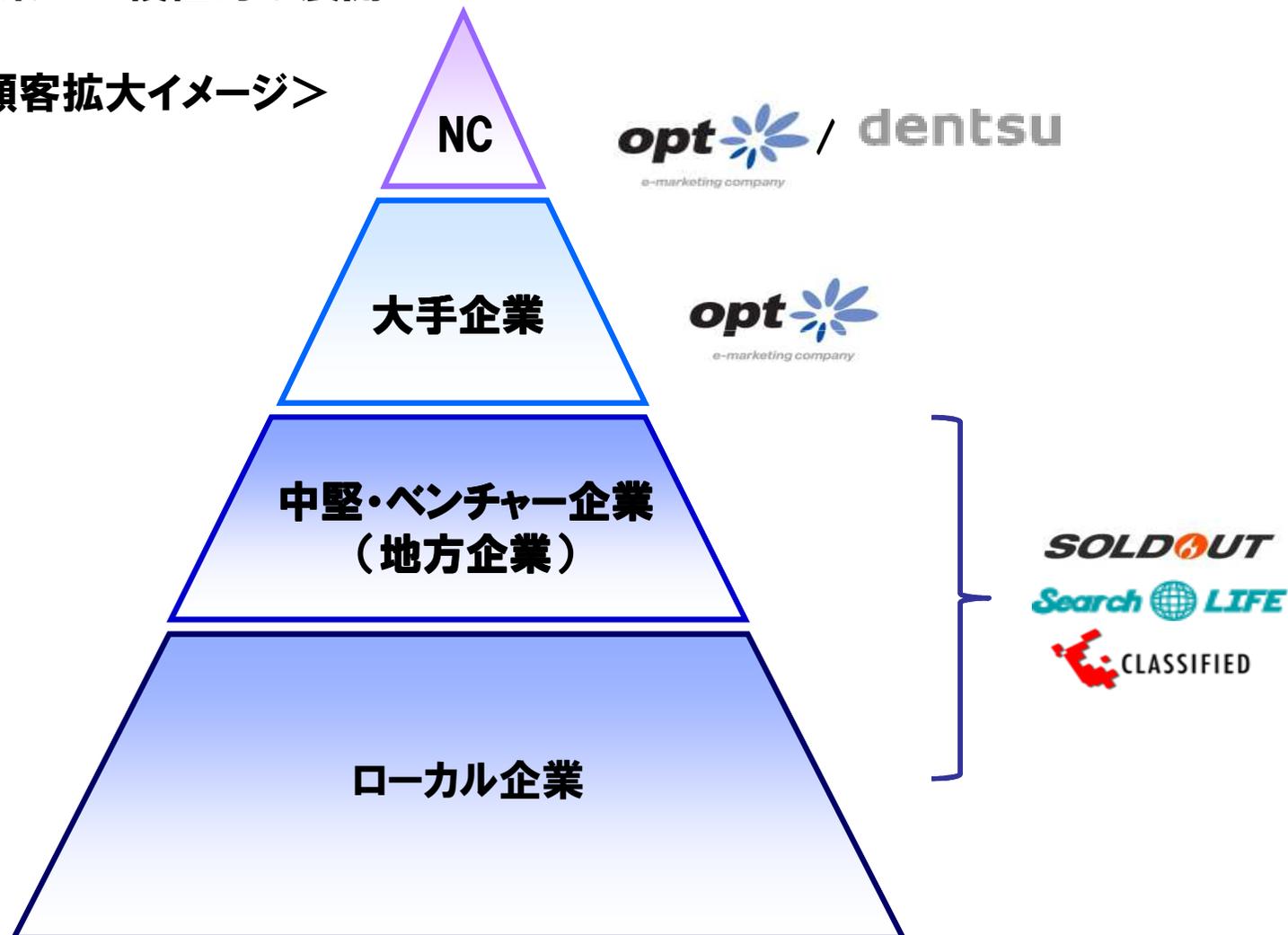
- **個人株主へのIR強化**
- **ロードショーやスモールミーティング等、機関投資家・アナリストとのコミュニケーション機会の積極創出**
 - ・ **当社株式の積極的PR**
 - ・ **当社の「生の声」を投資家・アナリストの皆さまに届けたい**
- **PRを含めた当社ブランディングの強化推進**
- **本年度より決算説明会を半期開催に変更(中間、本決算)**

參考資料

広告事業の顧客戦略図

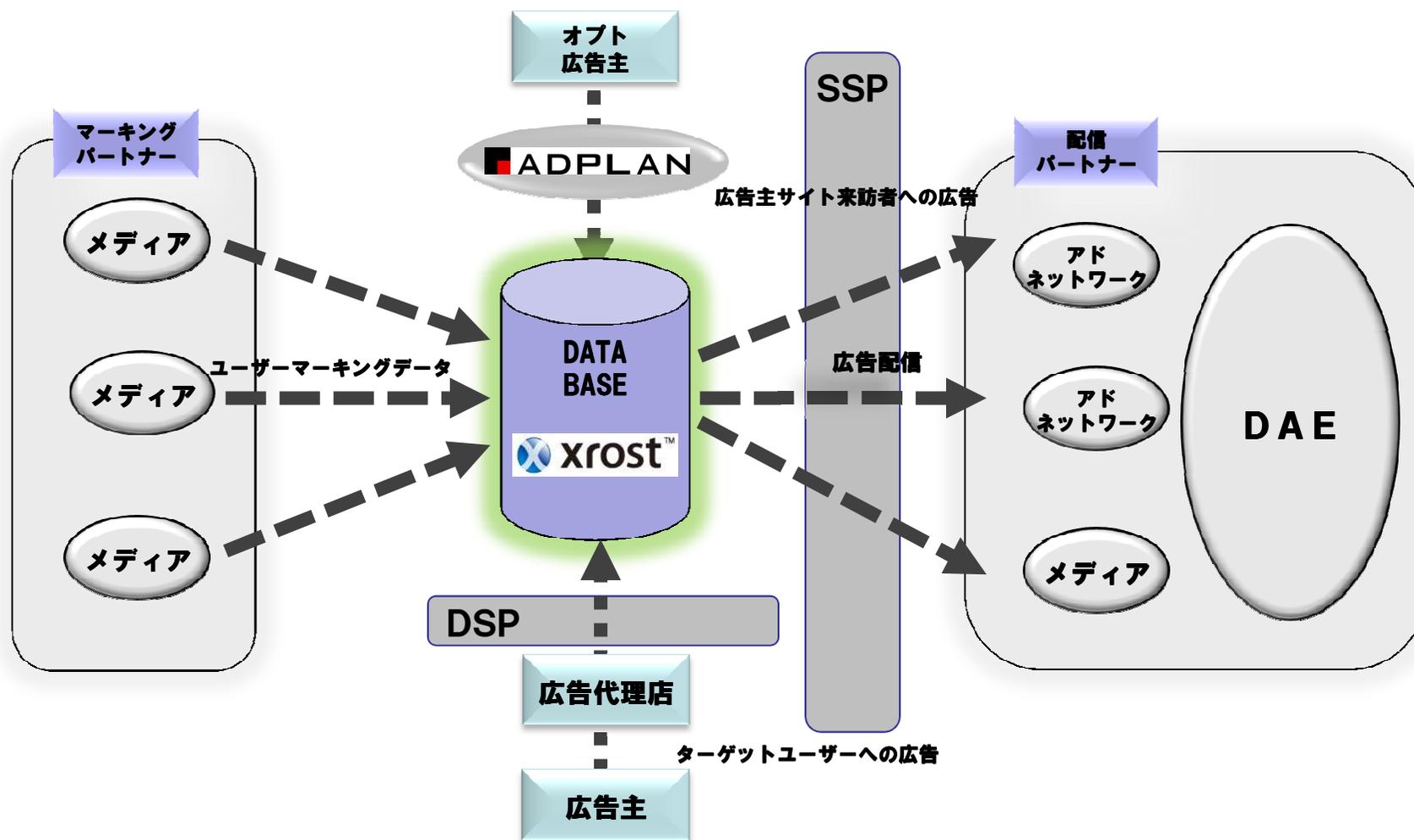
- 電通協業でのナショナルクライアント（NC）、子会社による中堅・ベンチャー企業の開拓、大手企業は業種拡大および上位顧客の開拓深耕強化
- 地方企業への積極的な展開

<顧客拡大イメージ>



Xrost スキーム図

マーケティングデータ数、配信可能imp（表示回数）拡大中
2/9より（Google）DoubleClick Ad Exchange(DAE)とデータ連携開始



セグメント構成

08Q1~08Q4	09Q1~09Q3	09Q4	10Q1~10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3~
広告・ソリューション事業							
単： 広告代理	単： 広告代理	単： 広告代理	単： 広告代理	単： 広告代理	単： 広告代理	単： 広告代理	単： 広告代理
単： ソリューション	単： ソリューション	単： ソリューション	単： ソリューション	単： ソリューション	単： ソリューション	単： ソリューション	単： ソリューション
単： 比較サイト	単： 比較サイト	単： 比較サイト	単： 比較サイト	単： 比較サイト	単： 比較サイト	単： 比較サイト	単： 比較サイト
子： クラシファイド	子： クラシファイド	子： クラシファイド	子： クラシファイド	子： クラシファイド	子： クラシファイド	子： クラシファイド	子： クラシファイド
			子： ソウルダアウト				
子： クロスフィニティ	子： クロスフィニティ	子： クロスフィニティ	子： クロスフィニティ	子： クロスフィニティ	子： クロスフィニティ	子： クロスフィニティ	子： クロスフィニティ
						子： モディファイ	子： モディファイ
子： ALBA							
	子： Tradesafe	子： Tradesafe	子： Tradesafe				
データベース事業							
単： テクノロジー	単： テクノロジー	単： テクノロジー	単： テクノロジー	単： テクノロジー	単： テクノロジー	単： テクノロジー	単： テクノロジー
子： ホットリンク	子： ホットリンク	子： ホットリンク	子： ホットリンク	子： ホットリンク	子： ホットリンク	子： ホットリンク	子： ホットリンク
							子： Platform ID
コンシューマ事業							
		子： モバイルファクトリー	子： モバイルファクトリー	子： モバイルファクトリー	単： コンシューマ	単： コンシューマ	単： コンシューマ
					子： モバイルファクトリー	子： モバイルファクトリー	子： モバイルファクトリー
海外事業							
子： eMFORCE	子： eMFORCE	子： eMFORCE	子： eMFORCE	子： eMFORCE	子： eMFORCE	子： eMFORCE	単： 海外 子： eMFORCE

■セグメント構成の変更予定点

2012年Q1よりモディファイは連結対象外

2011年Q3～セグメント変更点

2011年～Q2

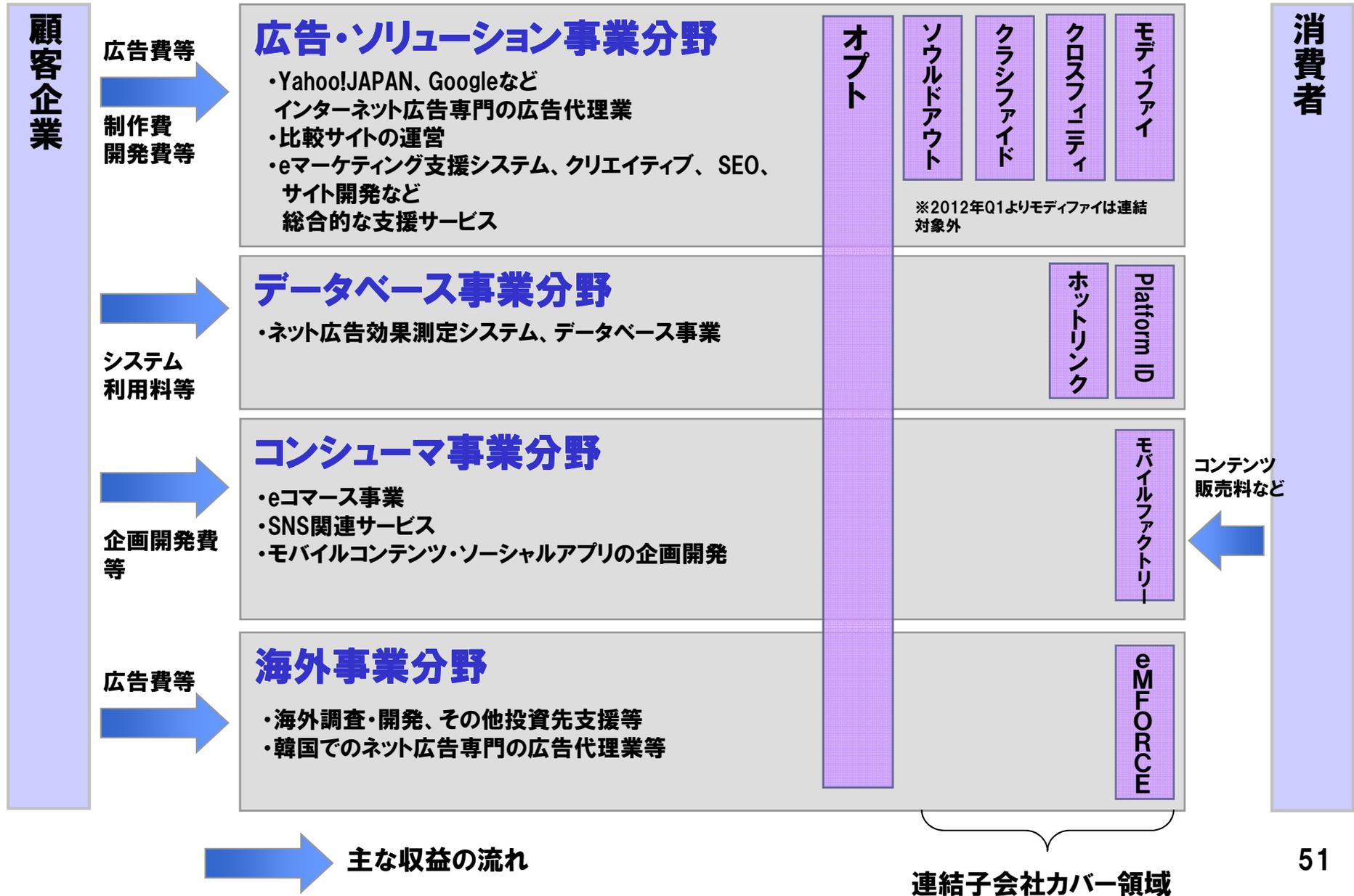


2011年Q3～



※2012年Q1よりモディファイは連結対象外

事業領域(2011年度Q4末時点)



主要グループ会社概要(2011年Q4末時点)

社名	事業内容	持分比率	連結状況
クラシファイド 	クラシファイド広告の企画販売	66.01%	連結子会社
クロスフィニティ 	SEOコンサルティングサービス	66.67%	連結子会社
ホットリンク 	SaaS事業	59.64%	連結子会社
eMFORCE 	韓国でのネット広告代理	88.50%	連結子会社
ソウルドアウト 	中堅・ベンチャー企業向け広告代理	100.00%	連結子会社
モバイルファクトリー 	モバイルコンテンツ事業	40.84%	連結子会社
モディファイ 	ソーシャルメディアマーケティング支援事業	100.00%	連結子会社
Platform ID 	データベース関連事業	51.00%	連結子会社
持分法適用	パピレス、TAGGY、TradeSafe、MCN Asia Holdings,Pte.Ltd.		
その他グループ企業	北京欧芙特信息科技有限公司、サーチライフ、コンテンツワン		

※2012年Q1よりモディファイは連結対象外



e-marketing company

株式会社オプト

JQ2389

<http://www.opt.ne.jp/>

**IRに関するお問い合わせは、
グループ経営企画部 山田までお願い致します。
TEL:03-5745-3611**

<注意事項>

スライドに記載されている、株式会社オプトの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。実際の業績は、これら業績見通しとは異なる結果があることをご了承ください。